

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第559号（平成26年12月17日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. リサイクルポートセミナー開催について（ご報告）
2. 次回汚染土壌事業化PT（WG）の開催について
3. 次回循環資源利用促進部会の開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. リサイクルポート推進協議会、平成26年度リサイクルポートセミナー開催
2. リサイクルポートセミナーで低炭素型静脈物流事業の取組を中間報告
3. 第3次社会資本整備重点計画の見直しへ

=====

《事務局からのお知らせ》

1. リサイクルポートセミナー開催について（ご報告）【広報部会・事務局より】

平成26年12月10日（水）第一ホテル東京シーフォートにて
リサイクルポートセミナーが開催されました。

おかげ様で多数の方に参加していただきました（参加人数は102名でした）。
ご協力ありがとうございました。

2. 次回汚染土壌事業化PT（WG）の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成26年12月19日（金） 場所：みなと総研3階会議室

13：00～14：30 WG②, ⑥

14：30～15：30 WG③, ④

15：30～16：30 WG①

3. 次回循環資源利用促進部会の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成26年12月22日（月） 場所：みなと総研3階会議室

10：00～12：00

【事務局】

=====

1. リサイクルポート推進協議会、平成26年度リサイクルポートセミナー開催

リサイクルポート推進協議会は12月10日、都内会場で「地方創生及び低炭素社会に寄与する静脈物流」をテーマに、平成26年度リサイクルポートセミナーを開催した。基調講演として吉澤保幸低炭素社会創出促進協会代表理事（場所文化フォーラム名誉理事）が「環境・生命文明社会の創造と地域創生～地域活性化と静脈物流の役割～」のテーマで講演したほか、「地域温暖化対策とエネルギー対策特別会計事業」と題して、名倉良雄環境省地球環境局調整官が講演した。また阿野貴史国土交通省港湾局海洋・環境課環境情報調査官が、港湾局が取組んでいる港湾環境行政の動きについて報告した。

セミナー開催にあたって来賓の小谷野喜二国土交通省港湾局海洋・環境課長は、「本日は環境省のご支援を得て新たに補助採択になった低炭素型静脈物流の取組について中間報告されると聞いている。こうした取組が循環資源の更なる利用効率化に繋がっていくものと考えている。今後とも各位のお知恵を頂きながら港湾のより良い環境作りに努めてまいりたい」と挨拶した。

基調講演した吉澤代表理事は、「ローカルからの自立分散型社会の創造」として、50年先、100年先を見据えた環境共生型の地域づくりの大切さを話すとともに、全国各地で動き出しているローカル資源を活かした地域活性化の様々な取組を紹介した。

環境省の名倉調整官は環境省が取組んでいる地域温暖化対策やエネ対策特別会計で支援している補助事業のメニューを紹介。また港湾局の阿野調査官は、港湾環境政策の基本的方向を説明した。

【港湾空港タイムス】

2. リサイクルポートセミナーで低炭素型静脈物流事業の取組を中間報告

12月10日開かれたリサイクルポート推進協議会の平成26年度リサイクルポートセミナーで、今年度から始まったモーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流採択の事業について各担当企業から中間報告があった。コンテナ共同配送事業の取組や最近の動きを葛西直樹井本商運(株)営業部課長、またバルク共同輸配送事業の取組について、林孝昌・(株)NTTデータ経営研究所シニアマネージャー（循環資源ネットワーク代表理事）が、それぞれ報告した。

このなかで葛西氏は、静脈コンテナ海上輸送として今年7月から京浜港～阪神港～門司港を結ぶ定期航路に乗せていること、また年明けの1月からは京浜港～仙台港～苫小牧港を結ぶ航路についても静脈運航を開始する予定であることを明らかにした。

また林氏は日本海側における循環資源のモーダルシフトとして、酒田港リサイクルセンター、八戸セメントが連携して事業を進めている循環資源のバルク輸送の動きを報告した。そして林氏が代表理事を務める循環資源ネットワークではリサイクルポート情報管理システムの立ち上げも進めており、入出荷情報をネットワーク化することで経済的で効率的なリサイクルポート実現に寄与して参りたいと述べた

【港湾空港タイムス】

.....

3. 第3次社会資本整備重点計画の見直しへ

国土交通省は12月8日、「社会資本整備審議会・交通政策審議会交通体系分科会計画部会合同会議」を開催し、現行の第3次社会資本整備重点計画（平成24年～28年度）の見直しに着手した。現行計画策定後、インフラの老朽化など社会資本整備を巡る状況が大きく変化したことから改定を前倒しする。

社会資本整備重点計画は、計画期間における港湾、空港、海岸、道路等といった社会資本整備事業に関する重点目標や実施すべき事業を定めた中期的な指針となるもの。初会合では同計画について、①加速するインフラ老朽化、②人口減少に伴う地方の疲弊、③切迫する巨大地震、激甚化する気象災害、④激化する国際競争、といった4つの危機を乗り越えるため、戦略的な対応の深化が必要であるため、見直しを行わなければならないと提示した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一（株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####